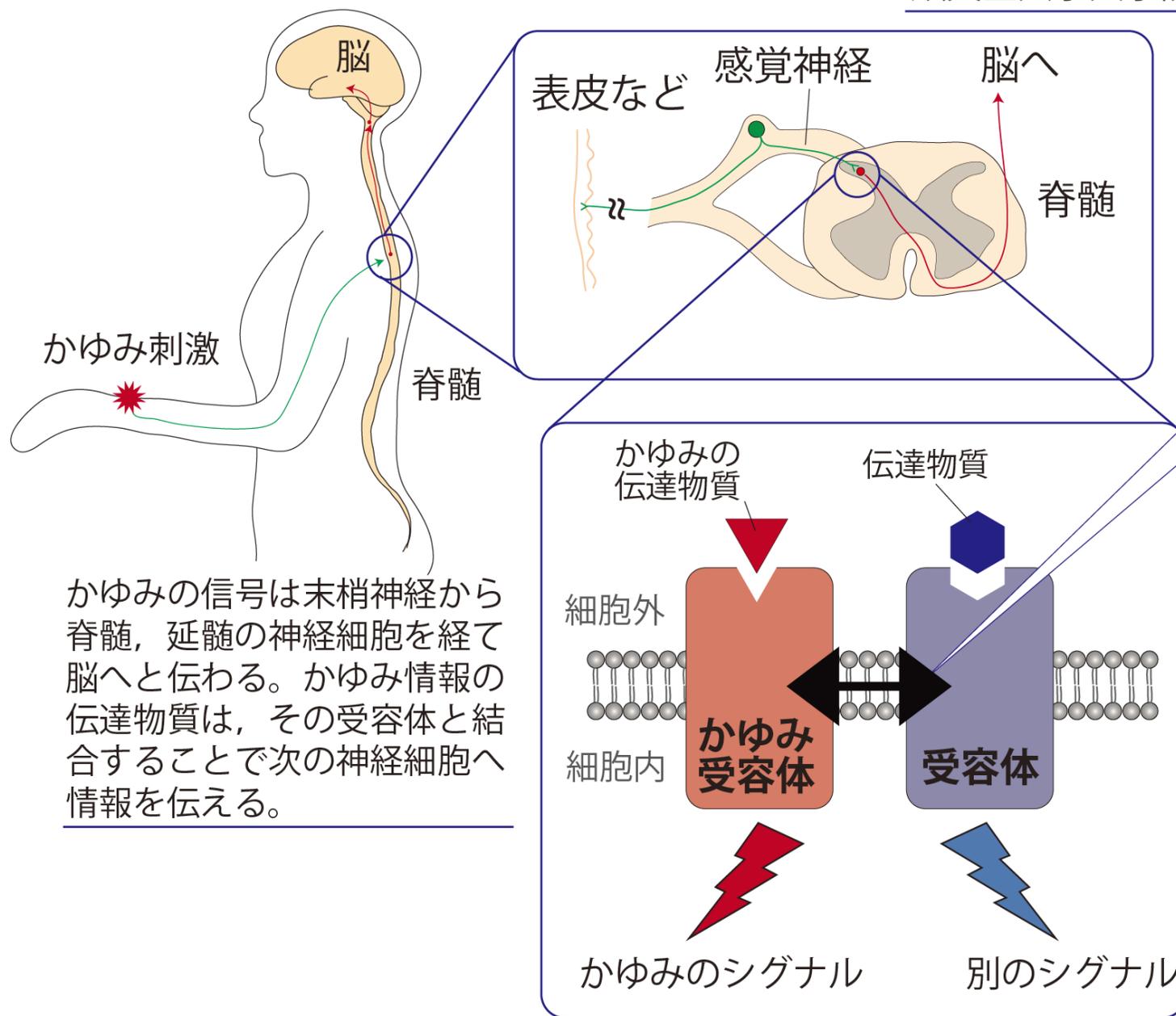


Gタンパク質共役型受容体のヘテロ複合体形成に着目したかゆみ伝達の制御

順天堂大学大学院医学研究科 細胞・分子薬理学

櫻井 隆、上窪裕二



受容体同士の相互作用によるシグナル伝達の制御。かゆみシグナルを増強したり抑制したりしている。

かゆみの信号を伝える受容体をはじめとする細胞膜受容体は、他の受容体と相互作用することでシグナル伝達を制御している。私たちは、受容体同士の複合体形成と機能的な相互作用に注目し、難治性かゆみの制御方法に関する創薬を目指して研究を行ってきた。その結果、神経伝達に関わる受容体同士の相互作用について明らかになった。

JCI Insight. 2017, BMC Biotechnol. 2016, J Pharmacol Sci. 2015, J Neurosci. 2013